

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2025年2月21日）

## ■第1刷（2024年4月10日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
基準範囲一覧					
9	右段 7行目	赤血球沈降速度 ESR M:2.0~10mm/時 F:3.0~15mm/時	赤血球沈降速度 ESR M:2.0~10.0mm/時 F:3.0~15.0mm/時		25/02/21
第2章-2 腎障害の治療と検査値の変動					
77	1~2行目	つまり、尿蛋白が増加した場合は、糸球体障害だけではなく、尿細管障害やM蛋白などほかの病態を考慮する必要がある	つまり、尿蛋白が増加した場合は、糸球体障害だけではなく、尿細管障害やM蛋白などほかの病態も考慮する必要がある		25/02/21
第3章 Case4					
151	表1 左段 18行目 ESRの基準範囲	3.0~15mm/時	3.0~15.0mm/時		25/02/21